

支え合う健康・福祉のまちづくり



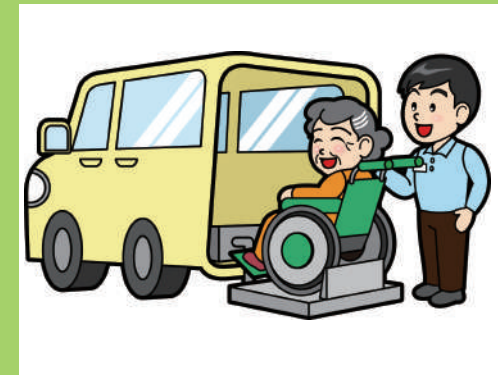
健康アプリによる健活

市民の方々が、自主的に健康づくりに取り組むきっかけとして、スマートフォンで手軽に参加できる健康アプリ「アスマイル」を導入しています。健診の受診や日々のウォーキングなどがポイント化され、楽しみながら健康づくりに参加できます。



認知症対策の推進

認知症に早期対応するための「認知症初期集中支援チーム」を設置するとともに、ご本人やご家族の方が、安心して暮らす環境にむけた「認知症地域支援推進員」を配置しています。また、65歳以上の方対象のタッチパネルを使用した認知機能チェックや、40歳以上の方を対象に電話で行う記憶チェックなど、認知症予防にも取り組んでいます。



外出支援の充実

高齢者や障がいのある方の外出を支援するために路線バス・鉄道の運賃補助やタクシーの定額チケットの助成を行っています。妊娠中の方にもタクシーの定額チケットを助成し、妊婦健診やマタニティ教室等への移動の負担軽減を図っています。路線バス・鉄道が充実していない寺・神宮寺地区ではワンボックスカーを運行しています。

支え合う健康・福祉のまちづくり



元気アップ体操の動画配信

地域での健康づくりとして、元気アップ体操のグループをこれまで大きく増やしてきましたが、感染症で外出自粛が長く続いたため、自宅でも気軽に取り組めるよう動画配信も始めました。



高齢者インフルエンザ予防接種の自己負担引き下げ

これまで、高齢者インフルエンザ予防接種の費用は、1500円を自己負担としていましたが、重症化リスクの高い高齢者の方々の感染予防や接種率向上のために、自己負担額を1000円に引き下げました。

健康保険 被保険者証

記号123456789 番号123

氏名 ●●●●●● 性別 ●
生年月日 ●●●● 年 月 日
資格取得日 ●●●● 年 月 日

国民健康保険料の抑制

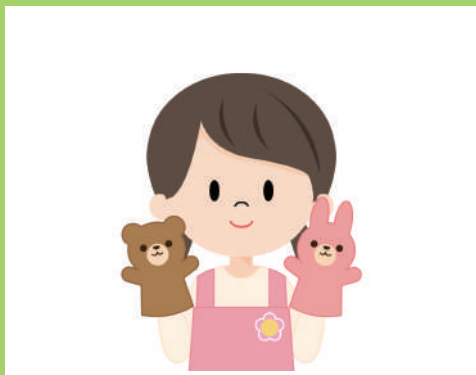
大阪は、府下統一の保険料に向かっていますが、市の特別会計でこれまで積み上げてきました基金を活用し、保険料上昇の抑制を行っています。

支え合う健康・福祉のまちづくり



手話言語条例の制定

手話は言語であるという認識のもと、声や音が聞こえないなどの障がいの有無に関わらず、誰もが安心して暮らすことができるまちを目指す条例を制定しました。イベントへの手話通訳者・要約筆記者の派遣や職員への手話研修などに取り組んでいます。



児童発達支援センターの開設

発達に支援が必要な就学前の子どもと保護者が一緒に通園する機能支援センターをさらに充実し、認定こども園や学校に出向き、発達に気がかりな子どもの集団生活をサポートするため、児童発達支援センターを開設しました。



図書館サービスの充実

ゆっくりくつろぎながら本を読めるスペースや、トンネルベンチ・ハウス型書架など親子で絵本を楽しむことができる児童書コーナーを配置した滞在型の図書室を、星田会館にオープンしました。子どもからご高齢者の方まで多くの方々にご利用いただいています。